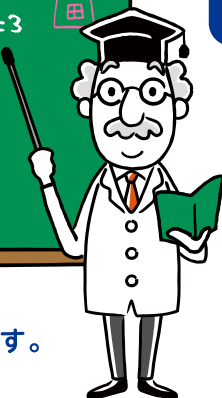


vol.15

# 燃料警告灯が点灯! あと何km走行可能!?

このコーナーではクルマに関する  
為になる雑学をご紹介します。  
意外と知らないことがあるかも!?



車を運転中に燃料の警告灯(給油マーク)が点灯すると、ガス欠が心配になって焦ってしまう人も少なくないでしょう。特に、ガソリンスタンドの数が少ない地域を走行している時や、高速道路を走行中に燃料警告灯が点灯すると、給油できる場所を見つけるまではハラハラドキドキの運転となってしまいます。

しかし、実際に燃料警告灯が点灯してから、どれくらいの距離を走るとガス欠になってしまうのかということが分かっているならば、それほど焦る必要はないかもしれません。あなたのクルマは、燃料警告灯が点灯してから、実際にどれくらいの距離を走ることができるのでしょうか?

## 1 ガス欠によるJAF救援依頼



JAFのロードサービスの救援依頼の内訳を見ますと、実際にガス欠を経験した人の割合は、かなり高いものとなっています。

平成27年度のデータになりますが、一般道を走っていてガス欠によりJAFの救援依頼を要請した人は53,124件で7位です。高速道路となるとさらに順位が上昇し、10,687件で2位となっています。ほとんどの国産車には燃料警告灯がついているのに、なぜガス欠を起こしてしまう人がいるのでしょうか?

一番の理由として考えられるのは、自分の乗っている車の燃料警告灯が点灯してから、実際にどれくらいの距離を走ることができるのかを、ほとんどの人が分かっていないのが理由のひとつにあげられます。



## 2 クルマによって、どれくらい走るとガス欠になる?



燃料警告灯が点灯した時点でのガソリンの残量は、燃費の良し悪しによって変わってくる傾向があるようです。つまり、燃費のいいクルマは残量が少なめ、燃費の悪い車は残量が多めとなっているわけです。それでは、実際に車種ごとに、燃料警告灯が点灯してからどれくらいの距離を走るとガス欠になるのかをご紹介します。

### 「軽自動車」の場合

およそ5リットル前後で燃料警告灯点灯

燃料警告灯点灯時  
走行可能距離 → およそ50km以上は  
走行可能

軽自動車の場合、残り5リットル前後で燃料警告灯が点灯する設定になっている車種が多いようです。ダイハツのミラやタントは比較的多めで、6リットルとなっています。ホンダの軽自動車は少なめの傾向があり、N-BOXとN-ONEが4リットル、N-WGNが4.5リットルとなっています。

### 「コンパクトカー」の場合

およそ5リットル前後で燃料警告灯点灯

燃料警告灯点灯時  
走行可能距離 → およそ50~80km  
走行可能

比較的燃費のいいコンパクトカーなどは、警告灯が点灯した時点での残量が5リットル程度が多いようです。アクア、ヴィッツが5リットル、フィットが5.3リットルとなっています。同じコンパクトカーでもデミオの場合は、残量が多めで9リットルとなっています。

### 「ミニバン」の場合

およそ7~13リットルで燃料警告灯点灯

燃料警告灯点灯時  
走行可能距離 → およそ50km程度  
走行可能

2000ccクラスのミニバンですと、ヴォクシーが7.2リットル、ステップワゴンが8リットル、セレナが13リットルとなっています。セレナに関しては警告灯が点灯してから100km近くの距離を走れることも可能かも知れません。2400ccのアルファードのは、残量が11リットルとなっています。

## 3 高速道路のサービスエリアの間隔と給油のタイミング



全ての車種において、ランプが点灯してから50km程度までは、ほぼ間違いなく走れそうということが分かりました。思ったよりも長く走れると感じた人も多いと思いますが、各自動車メーカーもこの50km以上を走行できるという点をひとつの目安として設計をしているからなのです。なぜなら、高速道路のサービスエリアというのは、基本的に50km間隔で設置されているからです。

但し、渋滞時などは燃費が極端に悪化してしまうので「警告灯が点いてもまだ走れる」といった考えではなく、早めの給油を心がけましょう。



高速道路上でガス欠を起こすと道路交通法違反となり、2点減点のうえ反則金9,000円を支払わなければならないとなりますので、注意しましょう!